様式２　管理運営状況評価書
【対象年度：平成24年度】　（　①歴史・文化施設　）

１　施設概要・利用情報　（単位：人、％、円、日）

番号	25	施設名	掛川市生涯学習センター	担当課名	社会教育課

区分		内容　・　説明	
１　施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市生涯学習センター設置条例	
	(2)施設設置目的	東遠地域住民の教育文化の向上並びに郷土を担う人材養成を通じた特色ある地域文化の育成及び創造を図るため	
	(3)施設が有する設備、機能の概要	ホール（固定645席、移動424席）、会議室4室（16人、43人、43人、144人収容）、和室（40人）、料理質（25人）、工作室（30人）、リハーサル室、準備室3室、催物広場（706.50㎡）	
	(4)施設建設年度	昭和58年度	
	(5)耐震性能の有無	有	
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	屋根及び外壁改修（平成26年頃　約5,000万円	空調設備改修（平成30年頃　約19,000万円）
		ホール内装改修（平成27年頃　約9,000万円）	
		電気設備改修（平成28年頃　約30,000万円）	
		衛生設備改修（平成29年頃　約8,000万円）	
	(7)指定管理者名	公益財団法人掛川市生涯学習振興公社	
	(8)指定期間	平成２３年４月１日　から　平成２８年３月３１日　まで	
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料＋利用料金併用制度	
	(10)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況を３－(3)欄に記入のこと。	
	(11)指定事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況を３－(3)欄に記入のこと。	
	(12)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(13)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　平成24年度）	

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
	(1)施設利用者数		194,663	165,215	219,696		※利用件数（H22：3,396件、H23：3,143件、H24：3,472件）
（施設・設備ごと）	ホール		84,736	66,411	77,521		
	リハーサル室		8,850	4,436	3,753		
	第1会議室		8,350	5,234	2,652		
	第2会議室		9,487	9,178	8,108		
	第3会議室		6,596	7,914	6,840		
	第4会議室		19,629	22,353	26,525		
	料理室		1,469	1,346	1,449		
	和室		6,136	5,211	5,389		
	工作室		4,005	5,096	4,310		
	催物広場		36,005	29,526	68,789		
	ギャラリー		9,400	8,510	14,360		
	(2)稼働率（利用率）						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	ホール	A平日昼間			28.4%		利用日数／運営日数（休館日除く）
		B平日夜間			29.7%		〃
		C土日祝昼間			30.4%		〃
		D土日祝夜間			14.5%		〃
	リハーサル室	A平日昼間			40.1%		〃
		B平日夜間			28.8%		〃
		C土日祝昼間			19.0%		〃
		D土日祝夜間			11.3%		〃

2 利用状況	（施設・設備ごと）	第1会議室	A平日昼間			46.6%		〃
			B平日夜間			29.7%		〃
			C土日祝昼間			22.9%		〃
			D土日祝夜間			7.1%		〃
		第2会議室	A平日昼間			57.9%		〃
			B平日夜間			47.5%		〃
			C土日祝昼間			30.7%		〃
			D土日祝夜間			17.1%		〃
		第3会議室	A平日昼間			57.6%		〃
			B平日夜間			44.3%		〃
			C土日祝昼間			29.4%		〃
			D土日祝夜間			20.0%		〃
		第4会議室	A平日昼間			57.6%		〃
			B平日夜間			35.9%		〃
			C土日祝昼間			24.9%		〃
			D土日祝夜間			22.3%		〃
		料理室	A平日昼間			12.9%		〃
			B平日夜間			6.7%		〃
			C土日祝昼間			11.6%		〃
			D土日祝夜間			2.9%		〃
		和室	A平日昼間			56.6%		〃
			B平日夜間			25.2%		〃
			C土日祝昼間			24.2%		〃
			D土日祝夜間			10.0%		〃

2 利用状況	（施設・設備ごと）	工作室	A平日昼間			57.9%		〃
			B平日夜間			24.9%		〃
			C土日祝昼間			26.2%		〃
			D土日祝夜間			5.8%		〃
		催物広場	A平日昼間			7.7%		〃
			B平日夜間			2.9%		〃
			C土日祝昼間			7.7%		〃
			D土日祝夜間			3.5%		〃
		ギャラリー	A平日昼間			30.4%		〃
			B平日夜間			28.4%		〃
			C土日祝昼間			24.9%		〃
			D土日祝夜間			14.5%		〃

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		221	246	196		
	(3)運営日数		359	360	359	359	
	(4)運営人員	①正規職員	4.0	5.0	5.0	3.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	3.0	2.0	2.0	4.0	

2 施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	37,402,280	34,820,256	38,118,149	39,787,000	
	②印刷費	69,615	66,045	184,590	250,000	
	③通信費	516,394	487,933	411,534	465,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	15,100	21,635	76,651	50,000	
	⑤借上料	2,161,117	2,281,543	2,015,370	2,660,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	2,559,136	2,845,693	2,210,663	2,970,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	201,159	110,652	140,470	120,000	
	計	42,924,801	40,633,757	43,157,427	46,302,000	
	対前年度増減率		△ 5.3	6.2	7.3	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	41,884,707	37,981,648	37,277,545	38,728,000	
	消防設備保守点検	1,113,000	957,600	957,600	958,000	
	警備保障業務	476,280	476,280	476,280	477,000	
	電気工作物保守点検	781,410	480,060	480,060	481,000	
	空調設備保守点検	2,205,000	2,152,500	2,152,500	2,153,000	
	館内清掃業務	5,700,000	5,160,000	5,160,000	5,160,000	
	舞台操作管理業務	23,410,800	20,893,950	20,320,650	21,624,000	
	その他	8,198,217	7,861,258	7,730,455	7,875,000	
	②修繕費	3,796,039	3,260,911	3,242,950	3,000,000	
	③光熱水費	16,404,968	15,904,195	15,971,951	16,170,000	
	④燃料費	147,522	172,930	167,368	200,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	2,152,309	2,226,554	2,191,523	1,400,000	
	計	64,385,545	59,546,238	58,851,337	59,498,000	
	対前年度増減率		△ 7.5	△ 1.2	1.1	

(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）	107,310,346	100,179,995	102,008,764	105,800,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	40.0	40.6	42.3	43.8	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する	25,684,540	24,279,305	24,684,867		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	59.8	59.8	57.2		

３　収支差額の状況　　注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	25,684,540	0	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	104,884,000	0	0	
収支差額　a）－b）	△ 79,199,460	0	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	24,279,305	24,684,867	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（　a－トータルコスト）	0	△ 75,900,690	△ 77,323,897	
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）	0	81,500,000	81,400,000	

(3指定事業及び)自主事業の状況　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	シオーネに一括計上
b) 指定事業の支出	0	0	0	シオーネに一括計上
収支差額　a）－b）	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	0	シオーネに一括計上
d) 自主事業の支出	0	0	0	シオーネに一括計上
収支差額　c）－d）	0	0	0	

４　施設管理所管課（市担当者）としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案（いつから、誰が、何を、どうする）
(1)　施設の収支差額の改善について 【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。	平成23年度の利用料金制（併用制）採用前に比べ施設管理費は経費削減に努めたことにより減少している。しかしながら、利用料金収入はやや減少となっている。	指定管理者に対し、全体的なコスト削減はもちろん、高い割合となっている人件費の抑制を図るため、他の2施設（シオーネ、美感ホール）との連携した合理化により、適正な人員数、配置を求める。 また、今指定管理期間の終了までに、適正な利用料金であるかを調査し、利用件数の増加に比例して赤字が嵩む料金体制とならないものにするほか、料金区分の見直しを図る（例：無料の貸室を有料とし収入増を図る。市内市外の区分の撤去により市外利用者の確保を図る。）。
(2)　利用者数の増加について 【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？	利用者数は、利用の内容により上下があり比較は難しいが、毎年度施設利用件数は増加している。利用料金制採用前の平成22年度との比較で約2%の増となっている。 ただし、一部に他に比べ利用率が低調な施設（貸室）がある。	指定管理者に対し、施設のPRを引き続き実施させるとともに、上記後段の一部に記載のとおり市外利用者を更に獲得するための料金区分の見直しを図る。 また、文化芸術分野の利用者が多い施設であることから、さらに増加を図るため、施設管理と文化振興とに別れた担当課を統合する。 さらに、個人を対象としたメンバーズクラブに法人を加入可能とし、施設利用（貸室）の優遇制度を設ける。
(3)　利用者の満足度向上について 【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。	指定管理者による満足度調査では、利用者の約85%が良好な印象を抱いている。 引き続き、利用者の要望、意見を可能な限り反映させ、より高い満足度を得ていく。	貸室事業と市の受託事業を優先していることから、自主事業は施設の空き状況を確認しながらとなるため、利用者が確保しにくい日程にならざるを得ない面もある。指定管理者には、イベントを実施することよりも施設の利用率向上に努めることを期待する。そのため、良好な施設環境と接遇の向上、施設PRを積極的に展開するよう指導する。

５　その他自由意見

改善提案については、今後策定される市文化振興計画との調整が必要となる。